

個人投資家の皆さまへ

株式会社 野村総合研究所

(証券コード：4307)

代表取締役 専務執行役員
安齋 豪格

2023年9月19日

NRI

Envision the value,
Empower the change



1 野村総合研究所(NRI)とは？

2 成長を続けるNRIの強み

3 さらなる成長に向けた取り組み -NRI Group Vision 2030-

4 さらなる成長に向けた取り組み -中期経営計画(2023-2025)-

5 取り組み事例

6 数値目標・株主還元

1. 野村総合研究所(NRI)とは？

日本初の民間シンクタンク「(旧)野村総合研究所」とシステムインテグレータの草分け「野村コンピュータシステム」が合併して誕生した会社です

沿革

1965年設立

(旧)野村総合研究所

1966年設立

野村コンピュータシステム

1988年1月合併

NRI 野村総合研究所
Nomura Research Institute

【企業理念 (使命)】

新しい社会のパラダイムを洞察し、その実現を担う
お客様の信頼を得て、お客様とともに栄える

【コーポレート・ステートメント】

未来創発 – Dream up the future. –

2001年12月 東証一部上場

2022年4月 新市場区分プライム市場に移行
(証券コード：4307)

1. 野村総合研究所(NRI)とは？

創業（1965）・・・国内、民間初の総合シンクタンクとして誕生しました



野村総合研究所の設立趣意書
(1963年に野村證券が作成)

設立趣意書（通称・赤本）より

- ねらい
- ・ 日本でこれまでにない、あたらしいタイプの研究所となること
 - ・ 研究調査を通ずる産業経済の振興と一般社会への奉仕

「今の経済界にとって、第一に国際的な視野、第二に経済動向についての科学的分析、第三に技術研究への深い理解であり、今日ほど研究調査の重要性の大なる時代はない」

- 「公益法人」ではなく、あえて「株式会社」に

野心的な構想を実現するために、株式会社による経済合理性の厳しさを選んだ

1. 野村総合研究所(NRI)とは？

合併（1988）・・・情報サービス企業のあるべき姿を予見して実現しました

- 旧・野村総合研究所と野村コンピュータシステムの合併により
コンサルティングとITソリューションの機能を併せ持つ会社が誕生



乾坤一擲（けんこんいってき）

「乾」は天、「坤」は地を表し、天と地をかけたような大勝負を表現した言葉です。また、野村総合「研」究所と野村「コン」ピュータシステムの「研」と「コン」で「けんこん」という洒落っ気も込められています。

野村証券 経営陣からの言葉

- 来るべき高度情報社会を見通したとき、
システム機能を持たないシンクタンクはあり得ないし、
シンクタンク機能を持たないシステム企業もあり得ない
(調印式の後の記者会見)
- 1プラス1は2ではない。この合併は必ず10になる
- 将来の日本の政治・経済すべてにわたって、**世界一の総合研究所**が必要だ
(新生NRI発足記念式典での祝辞)
- **合併の効果や意味は、今から30年後に分かる**
あのとときに合併して良かったと誰もが思うはずだ
(タウンホールミーティング時メッセージ)

1. 野村総合研究所(NRI)とは？

NRIは「コンサルティング」と「ITソリューション」を提供する会社です

コンサルティング

未来予測・社会提言等

マネジメントコンサルティング

業務コンサルティング

システムコンサルティング



ITソリューション

システム開発・導入

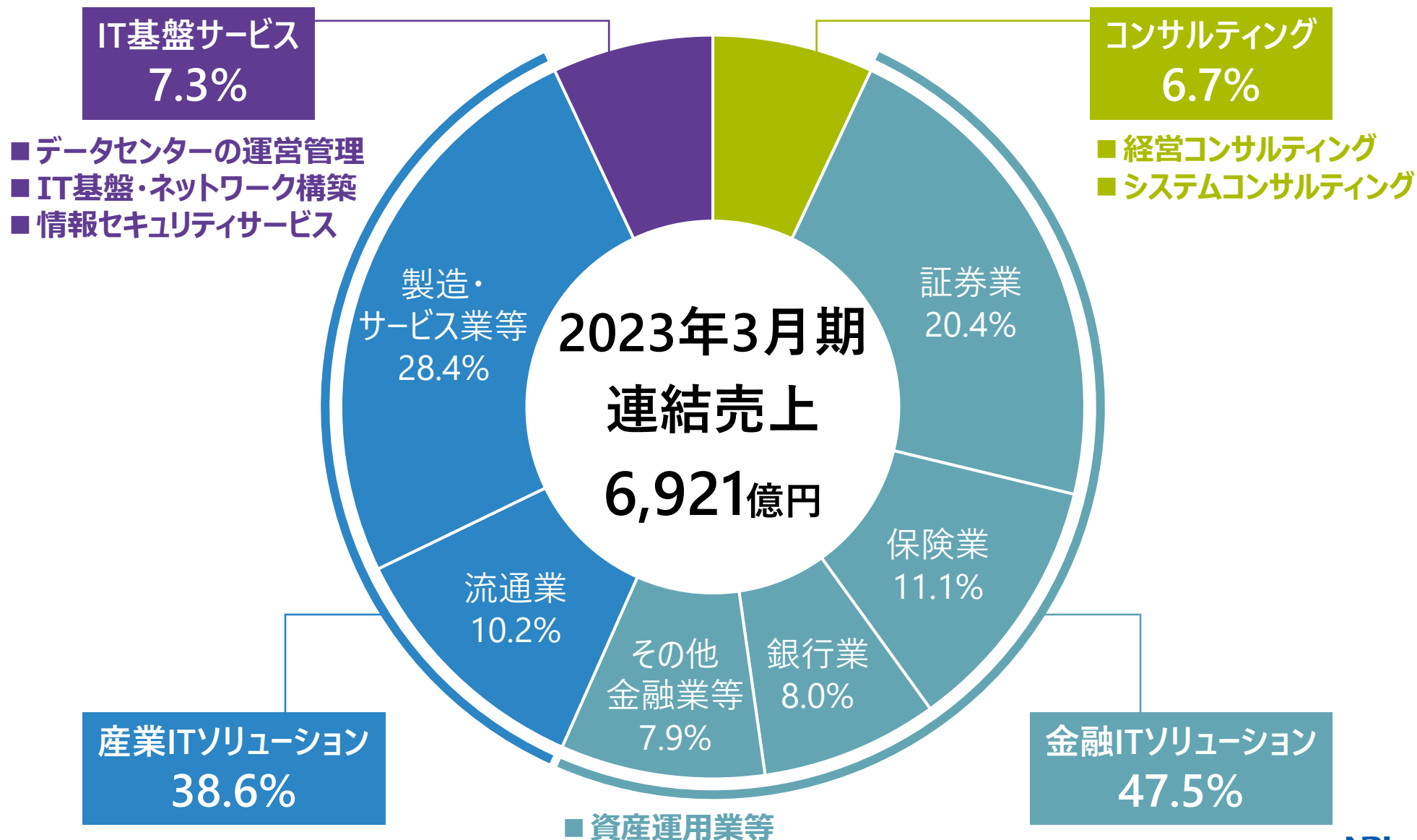
運用アウトソーシング

共同利用型サービス

BPO (ビジネスプロセス・アウトソーシング)

1. 野村総合研究所(NRI)とは？

金融機関向け売上比率が高い点が特徴です



1. 野村総合研究所(NRI)とは？

皆さまの日々の暮らしを支えるNRIの仕事を、いくつかご紹介します



1. 野村総合研究所(NRI)とは？

皆さまの日々の暮らしを支えるNRIの仕事を、いくつかご紹介します

データ

ATM

電子マネー



未来予測・社会提言 (シンクタンク)

- 社会への提言
(脱炭素社会に向けて、市場創造、官民連携を推進)
- 生活者や投資家の意識調査
- 各産業やIT技術等の未来予測

取材・講演・出版・ウェブで発信

コンサルティング

新聞
(金融情報)

1. 野村総合研究所(NRI)とは？

皆さまの日々の暮らしを支えるNRIの仕事を、いくつかご紹介します

データ

ATM

電子マネー

コンサルティング

- **地方創生、まちづくり政策策定支援**
(山形県鶴岡市のデジタル改革支援など)
- **生活者に関するマーケティング調査**
(生活者1万人アンケート、エリアマーケティングなど)
- **無人自動運転の実装支援**
(地域や業種をまたがるモビリティデータ利活用推進)

コンサル
ティング

新聞
(金融情報)

1. 野村総合研究所(NRI)とは？

皆さまの日々の暮らしを支えるNRIの仕事を、いくつかご紹介します

データ

ATM

電子マネー



証券会社

- ・大量の有価証券取引を確実に処理するために必要不可欠なITサービスを提供

金融商品取引の安定を支える

コンサル
ティング

新聞
(金融情報)

1. 野村総合研究所(NRI)とは？

皆さまの日々の暮らしを支えるNRIの仕事を、いくつかご紹介します

データ

ATM

電子マネー



コンビニエンスストア

- POSシステムをサポート
(売れ行き動向データを発注等に活用)

暮らしに身近で便利な
コンビニエンスストアを支える

コンサル
ティング

新聞
(金融情報)

1. 野村総合研究所(NRI)とは？

皆さまの日々の暮らしを支えるNRIの仕事を、いくつかご紹介します

データ

ATM

電子マネー



ATM

- ATMネットワークをサポート
(24時間365日、確実に稼動)

身近で便利な金融サービスを支える

コンサル
ティング

新聞
(金融情報)

1 野村総合研究所(NRI)とは？

2 成長を続けるNRIの強み

3 さらなる成長に向けた取り組み -NRI Group Vision 2030-

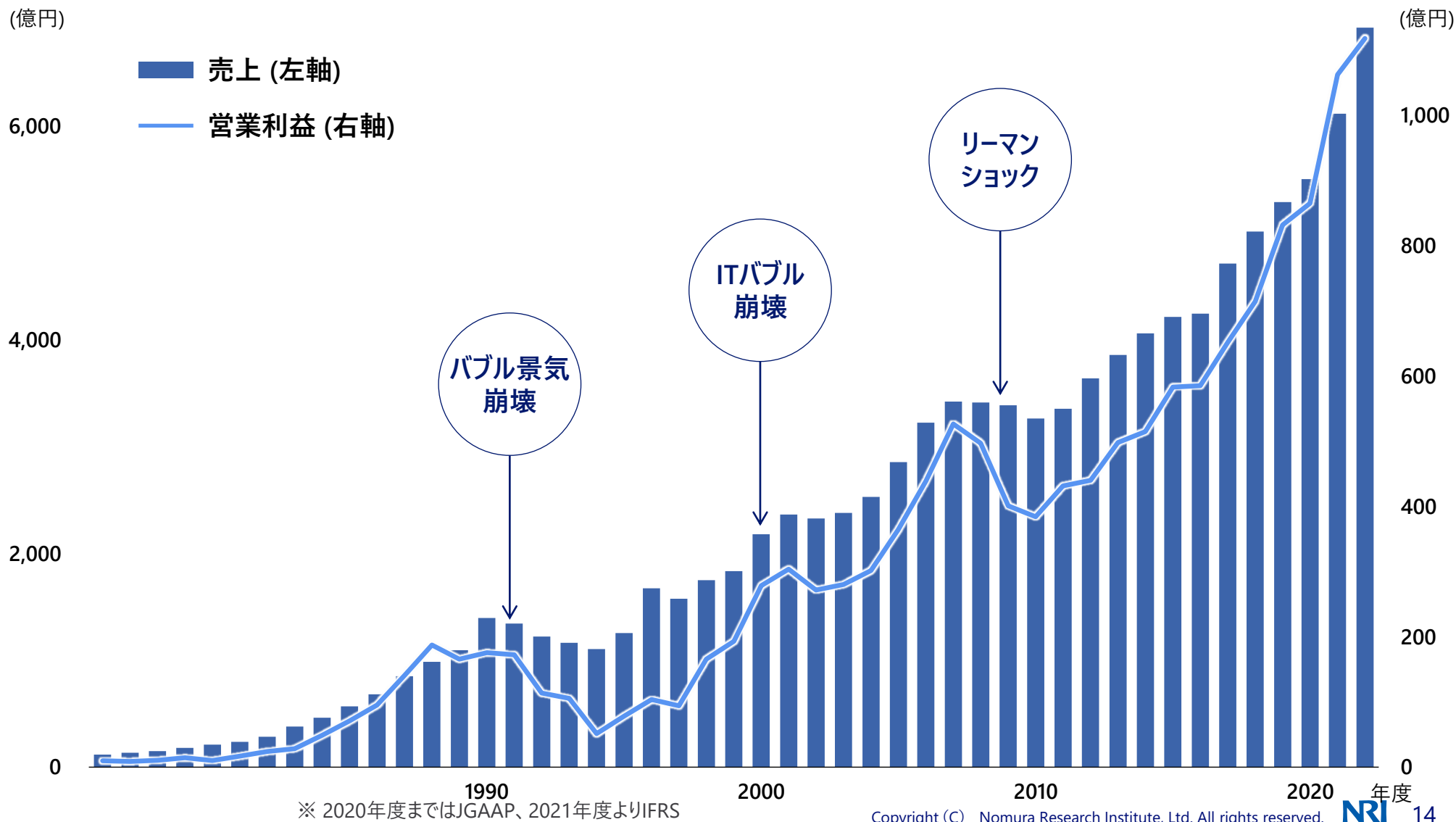
4 さらなる成長に向けた取り組み -中期経営計画(2023-2025)-

5 取り組み事例

6 数値目標・株主還元

2. 成長を続けるNRIの強み

創業以降、**持続的な成長**を達成してきました



2. 成長を続けるNRIの強み

ITサービス業界の中で、**業界トップクラスの利益率**を継続しています

【同業他社との売上収益・営業利益率の比較】(2023年3月期)



2. 成長を続けるNRIの強み

NRIの強み

強固な顧客基盤

継続的な事業による安定的な業績

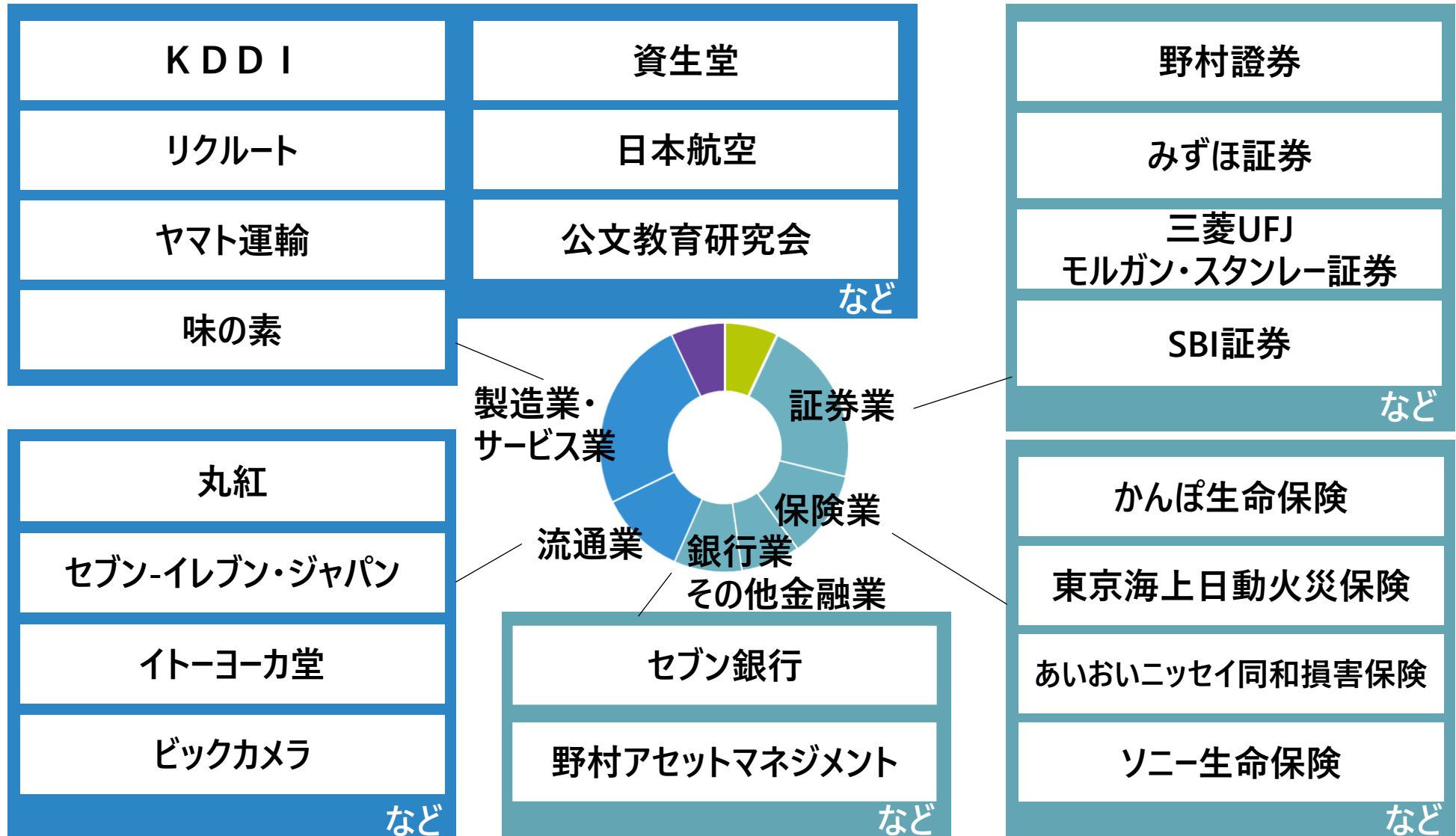
多様な共同利用型サービス

高い安全性と信頼性

卓越したビジネスモデル

2. 成長を続けるNRIの強み

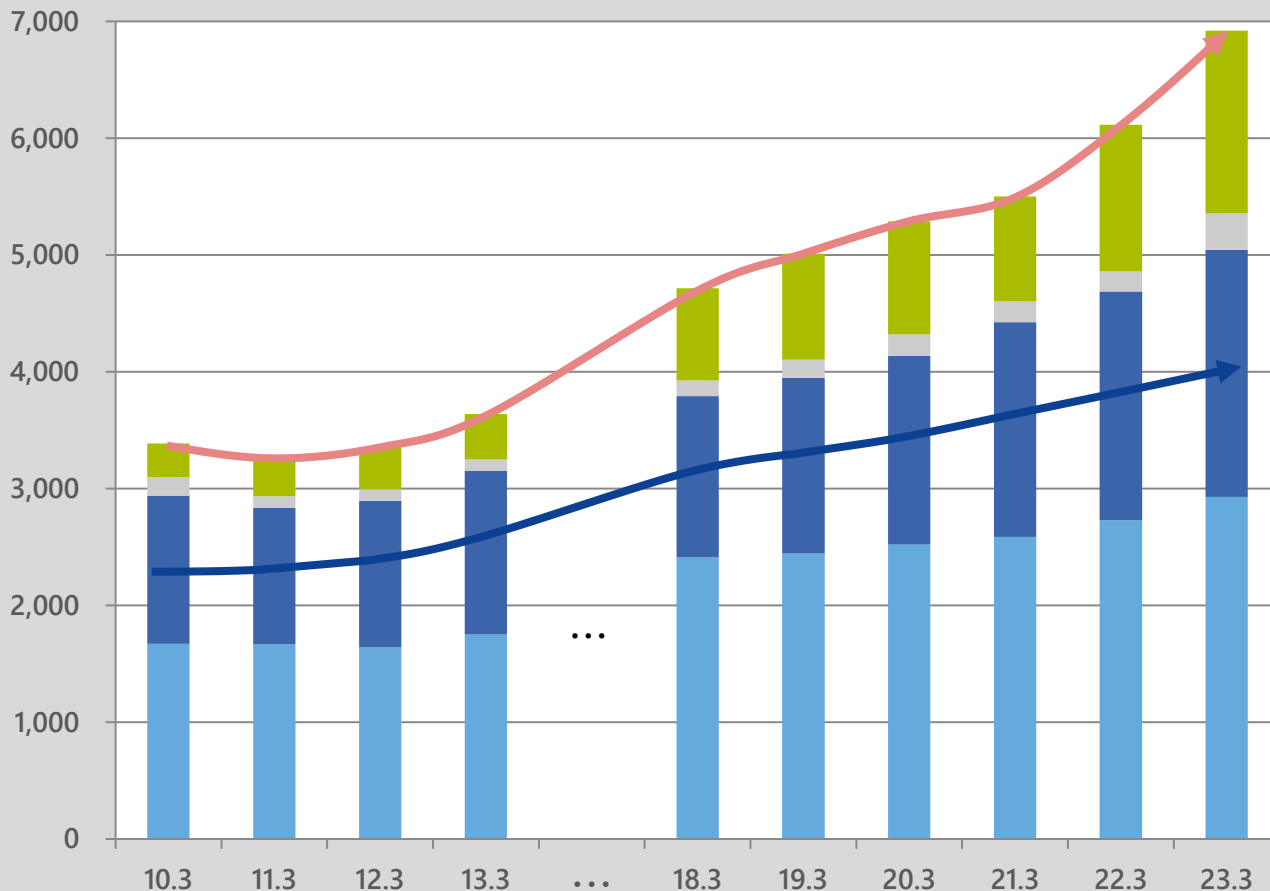
様々な業界のトップ企業を中心に【強固な顧客基盤】を保有しています



2. 成長を続けるNRIの強み

強固な顧客基盤のもと、約60%の継続的な事業を有し、
同業他社に比べて、【安定的な業績】を実現しています

売上収益（億円）



景気変動を受けやすい事業
約40%

- コンサルティング
- 商品販売
- システム開発（新規）

継続的な事業
約60%

- システム開発（エンハンスメント）
- 運用サービス
 - ・運用アウトソーシング
 - ・共同利用型サービス

- コンサルティング サービス 22.6%
- 商品販売 4.5%
- システム開発等 30.6%
- 運用サービス 42.3%

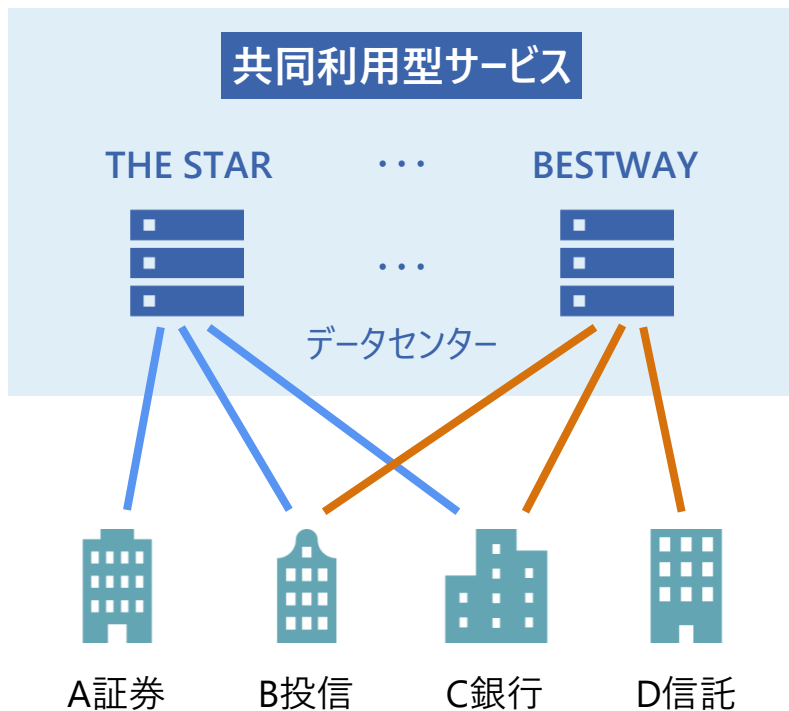
（注）%は2023年3月期における割合

2. 成長を続けるNRIの強み

NRIは【共同利用型サービス】に大きな強みを持っています
 情報システムの「所有から利用へ」の流れを作り出したパイオニアです

- ◆ NRIが開発したシステムをお客様が共有
- ◆ 利用料方式で、お客様のニーズにあった機能を取捨選択してご利用可能
- ◆ 煩雑な制度改革にも迅速に対応

【共同利用型サービスの一例】



THE STAR <small>リテール証券会社向け 総合バックオフィスシステム</small>	87社	Value Direct <small>インターネットバンキング システム</small>	24社
I-STAR <small>ホールセール証券会社向け 総合バックオフィスシステム</small>	28社	e-BANGO <small>マイナンバー管理サービス</small>	<small>マイナンバー保管件数 約3,800 万件</small>
T-STAR <small>資産運用会社向け 信託財産管理システム</small>	80社	e-NINSHO <small>本人確認トータル ソリューション</small>	375社
BESTWAY <small>銀行等向け投信窓販 口座管理システム</small>	110社	e-私書箱 <small>マイナポータルと連携する官 民連携クラウド</small>	83社

※利用社数は2023年3月末時点

強固な顧客基盤
継続的な事業による安定的な業績
多様な共同利用型サービス
高い安全性と信頼性
卓越したビジネスモデル

2. 成長を続けるNRIの強み

【高い安全性と信頼性を誇るデータセンター】がNRIのビジネスを支えています
 緊急事態での事業継続や災害復旧にも、万全の体制を備えています

【関東地区】



東京第一データセンター

竣工：2012年
 延床面積：38,820m²
 受電能力：4万KVA



横浜第二データセンター

竣工：2007年
 延床面積：15,888 m²
 受電能力：1.5万KVA

【関西地区】



大阪第二データセンター

竣工：2016年
 延床面積：18,360m²
 受電能力：7,500KVA

強固な顧客基盤
継続的な事業による安定的な業績
多様な共同利用型サービス
高い安全性と信頼性
卓越したビジネスモデル

2. 成長を続けるNRIの強み

【高い安全性】を誇るセキュリティ事業が、高度化するサイバー攻撃とその脅威からお客さまのビジネスを守っています

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

- ・野村総合研究所の「社内ベンチャー第1号」
- ・2000年独立。現在、グループ企業含め社員数約720名
- ・売上収益は約300億円（国内最大級の事業規模）



4つの事業

コンサルティング事業

- ✓ 高い専門性によるオーダーメイドの課題解決支援

DXセキュリティ事業

- ✓ デジタルトランスフォーメーションを支えるセキュリティ

マネージドセキュリティサービス事業

- ✓ 24時間365日で世界トップレベルのMDR(Managed Detection and Response)、SOC(Security Operation Center)

ソフトウェア事業

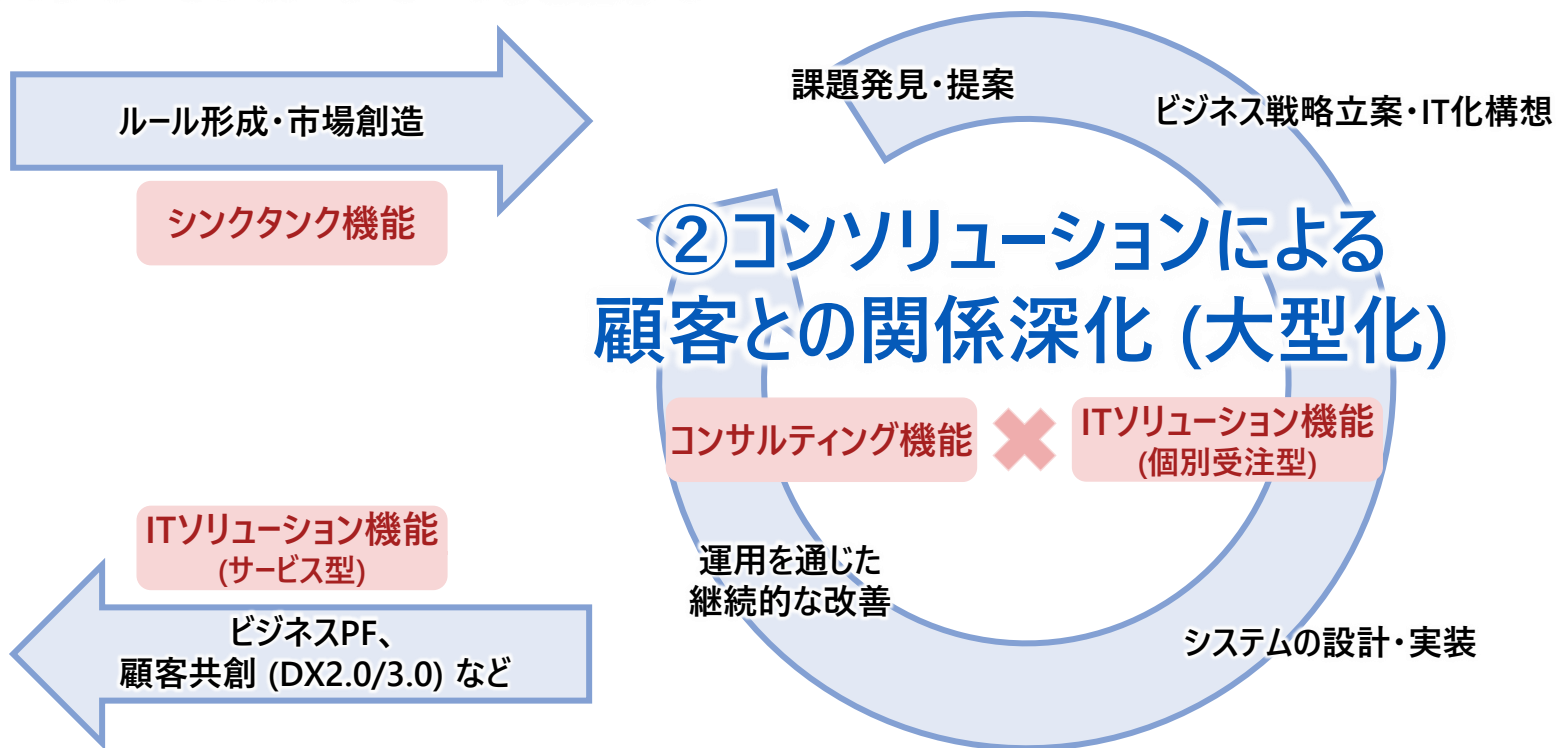
- ✓ 高品質で利便性の高い自社開発ソリューション

強固な顧客基盤
継続的な事業による安定的な業績
多様な共同利用型サービス
高い安全性と信頼性
卓越したビジネスモデル

2. 成長を続けるNRIの強み

シンクタンク、コンサルティング、ITソリューションが有機的につながる
【卓越したビジネスモデル】を築いています

①パラダイムシフトの先読み



③サービス型のビジネス創造



会社紹介ビデオをご覧ください

1 野村総合研究所(NRI)とは？

2 成長を続けるNRIの強み

3 さらなる成長に向けた取り組み -NRI Group Vision 2030-

4 さらなる成長に向けた取り組み -中期経営計画(2023-2025)-

5 取り組み事例

6 数値目標・株主還元

2030年のNRIグループの姿

経営とテクノロジーの融合で時代を先駆け、DXの先にある豊かさを洞察し、
デジタル社会資本で世界をダイナミックに変革する存在へ

創発する社会

夢と可能性に満ち、
豊かさを実感する、
活力ある社会

人々の英知がつながり、
環境にやさしい
持続可能な社会

強くてしなやかな、
安全で安心に
満ちた社会

2030年に向けて

NRIグループの優れた人的・知的資本を結集し、豊かな未来社会に向けたデジタル社会資本を創出する

社会資源の有効活用のためのビジネスプラットフォーム(BPF)導入や最適社会の実現に向けたデジタルツイン等の取組みを推進する

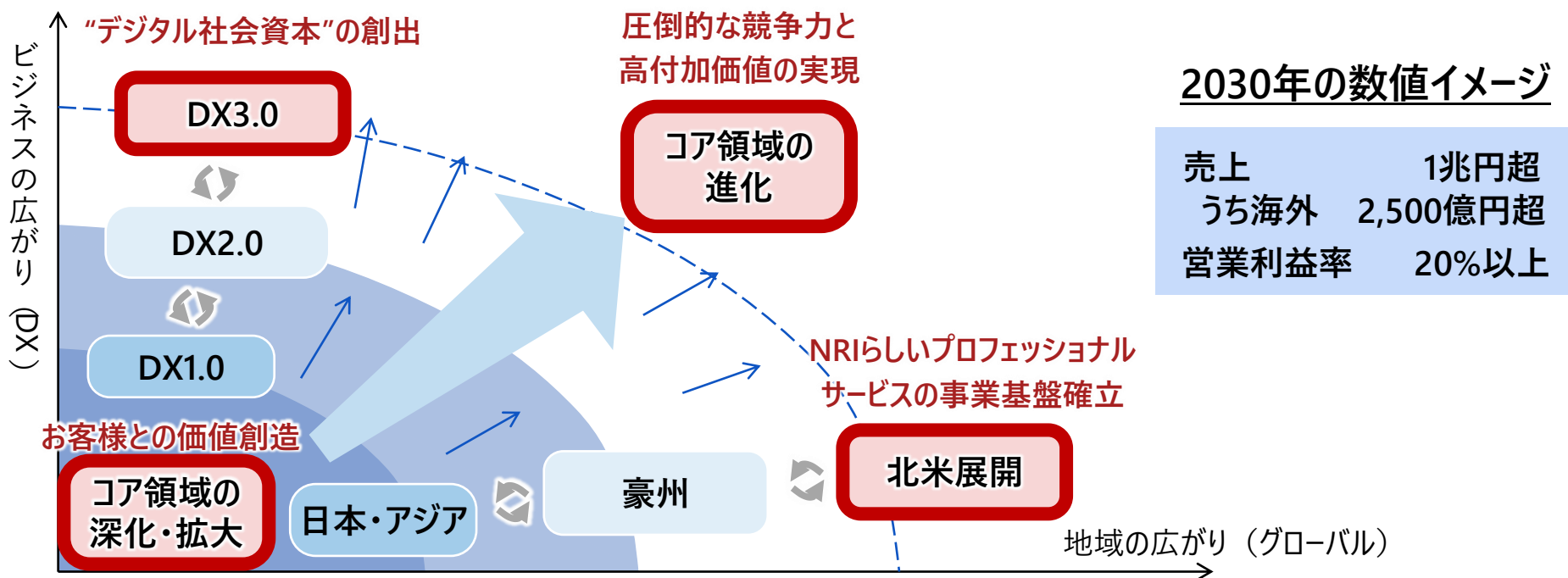
あらゆる人が安心してデジタルサービスを享受できるように、災害やサイバーリスクに強いITインフラを実現し、安定運用する

デジタル社会資本とは：デジタル技術で新たな価値を生み出し、社会や産業を支える共通のインフラやサービス

3. さらなる成長に向けた取り組み – NRI Group Vision 2030 –

成長ストーリー

- **コア領域** : お客様との価値創造の**深化**と、競争力・付加価値向上の**進化**を追求
- **DX※** : 企業・産業を超えて、社会にインパクトをもたらす**DX3.0に挑戦**
- **グローバル** : 巨大かつ高い成長力をもつ市場である**北米で事業基盤を確立**



※ DX1.0：企業レベル、DX2.0：産業レベル、DX3.0：社会レベル

3. さらなる成長に向けた取り組み – NRI Group Vision 2030 –

サステナビリティ基本方針（マテリアリティ）

マテリアリティ: 「持続可能な未来社会づくり」と「NRIグループの成長戦略実現」のために
2030年に向けて重点的に取り組むテーマ

創出する価値



デジタル社会資本の
充実を通じた
活力ある未来社会の共創



社会資源の
有効活用を通じた
最適社会の共創



社会インフラの
高度化を通じた
安全安心社会の共創

価値を生み出す 資本



多様なプロフェッショナルの
挑戦・成長による
人的資本の拡充



個々の知を組織力に
昇華させる
知的資本の創出・蓄積



経営基盤 (ESG)

ビジネスパートナー
との協働による
地球環境への貢献



ステークホルダー
との関係強化による
社会的責任の遂行



戦略的な
リスクコントロールを実現する
ガバナンスの高度化

3. さらなる成長に向けた取り組み

新たなビジョン・ステートメントを策定しました



Envision the value, Empower the change

私たちNRIグループは、ありたい未来をかなえるため、
お客様の社会への想いととも。

不確実性を極めた時代に、誰も見えなかった新たな豊かさを、鮮明に描く。
変革への道筋を見だし、緻密に大胆に実現する。

創造は挑戦で、挑戦は成長で、成長は可能性だ。
私たち一人ひとりが、未来を動かす力になる。

Envision the value, Empower the change
まだ見ぬ価値をともに描き、変革にさらなる力を。

1 野村総合研究所(NRI)とは？

2 成長を続けるNRIの強み

3 さらなる成長に向けた取り組み -NRI Group Vision 2030-

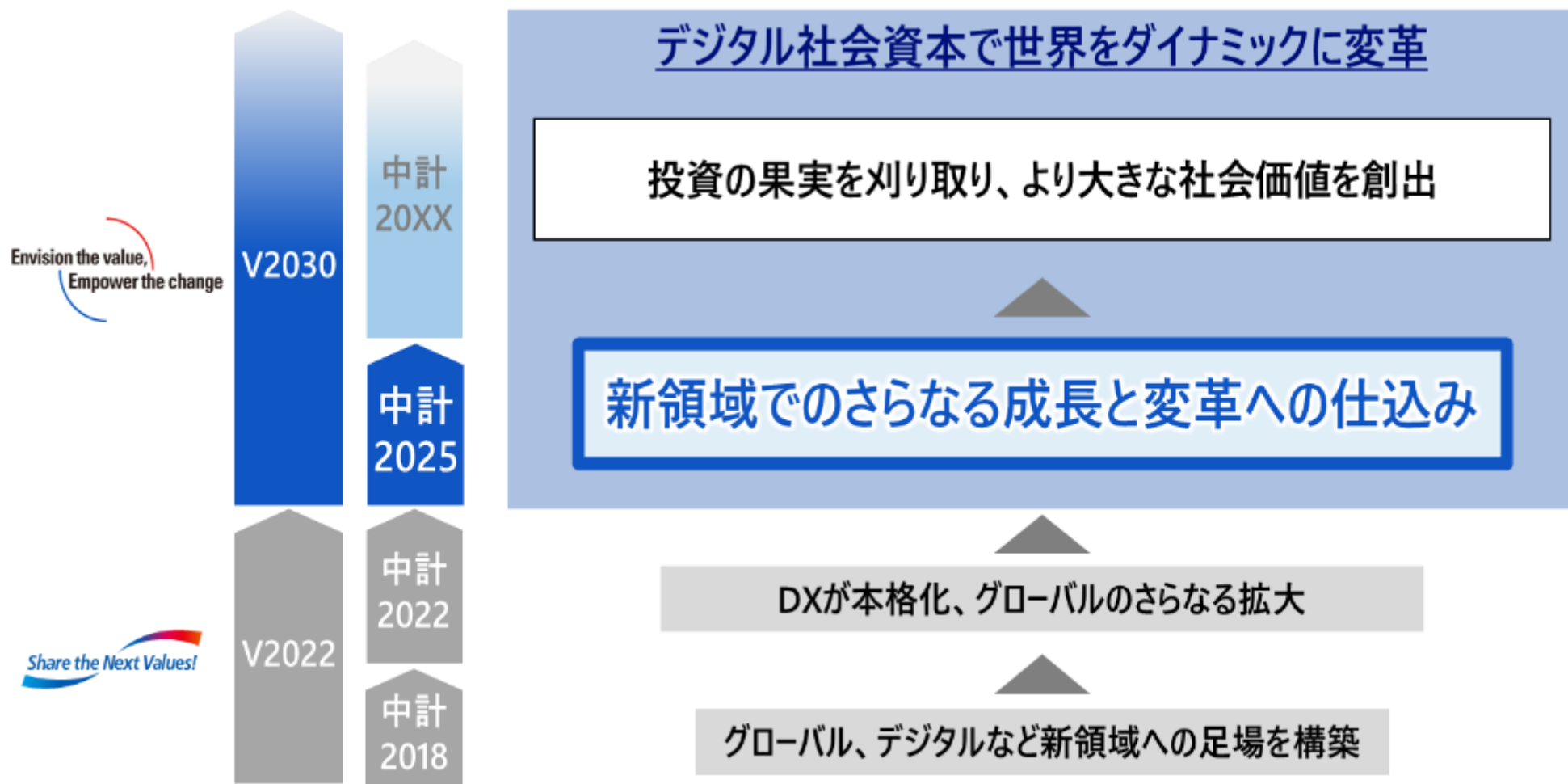
4 さらなる成長に向けた取り組み -中期経営計画(2023-2025)-

5 取り組み事例

6 数値目標・株主還元

4. さらなる成長に向けた取り組み - 中期経営計画（2023-2025） -

中計2025はV2030実現に向けた仕込みの期間です



中計2025の成長戦略の柱

コア領域	ビジネスモデルの進化で競争力と付加価値を向上
DX (DX2.0/3.0)	デジタル社会資本の共創と新領域への挑戦
グローバル (北米展開)	世界3極での事業運営に向けた体制整備
マネジメント	新たな価値創造のための経営基盤の盤石化

4. さらなる成長に向けた取り組み - 中期経営計画（2023-2025） -

コア領域の進化（抜本的な生産革新）

■ 中計2025期間で、**合計約200億円の生産性向上投資**を計画しています

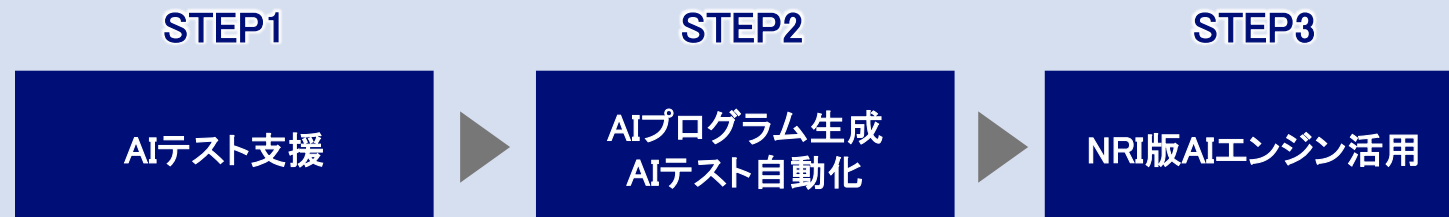
既存IT資産の モダナイズ

- ✓ 金融ビジネスプラットフォームの機能統廃合など、システム規模の最適化
- ✓ 基盤刷新、クラウド移行など産業分野のモダナイズ推進

開発フレームワークと 共同利用型 システム

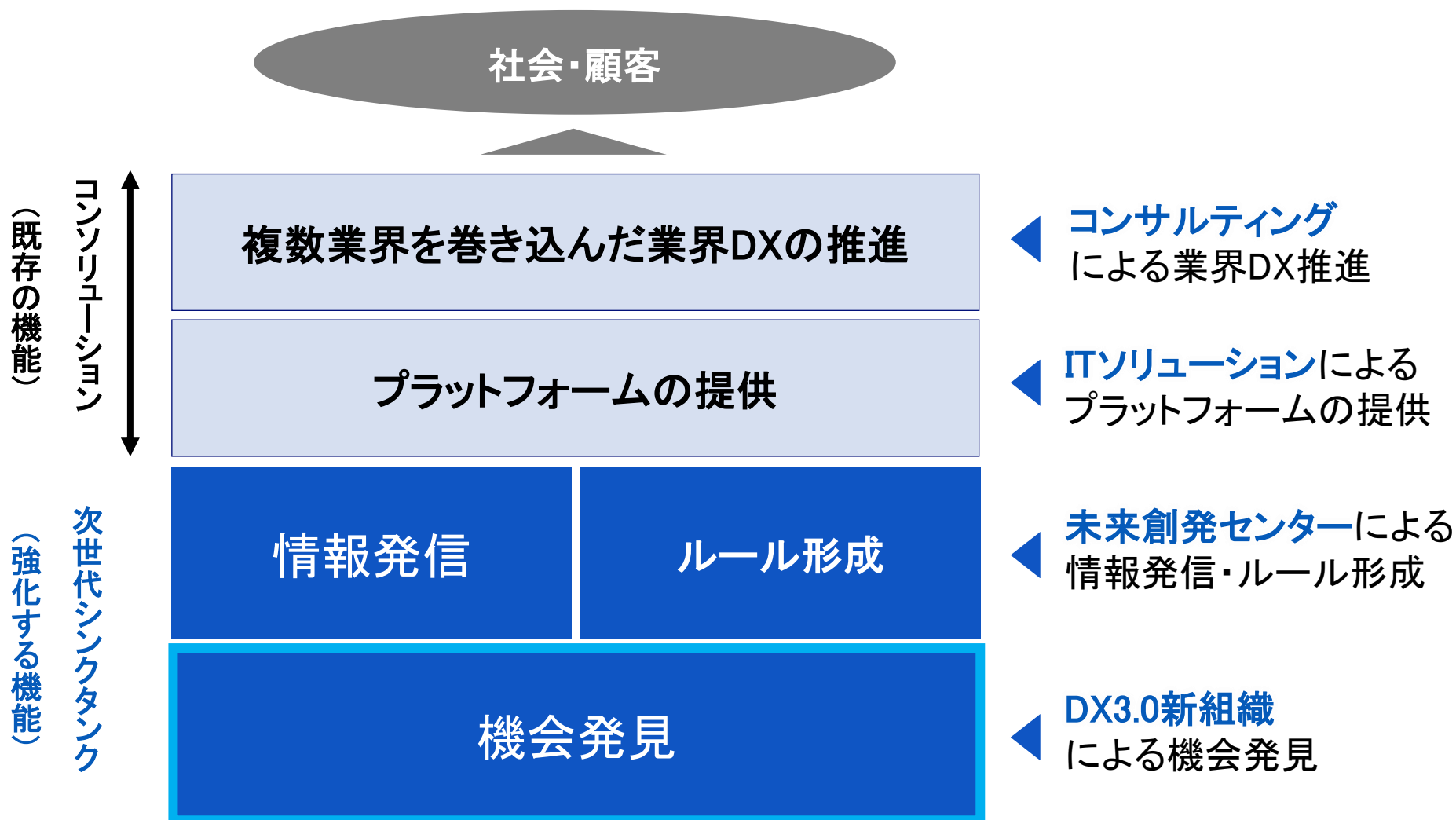
- ✓ 社内ノウハウとシステム共通部品を共有するフレームワーク（仕組み）の整備
- ✓ 共同利用型システムの仕様の共通化

AIを活用した 開発プロセス 確立



DX2.0/3.0の創出加速に向けた次世代シンクタンク機能

DX2.0/3.0事業化の全体像

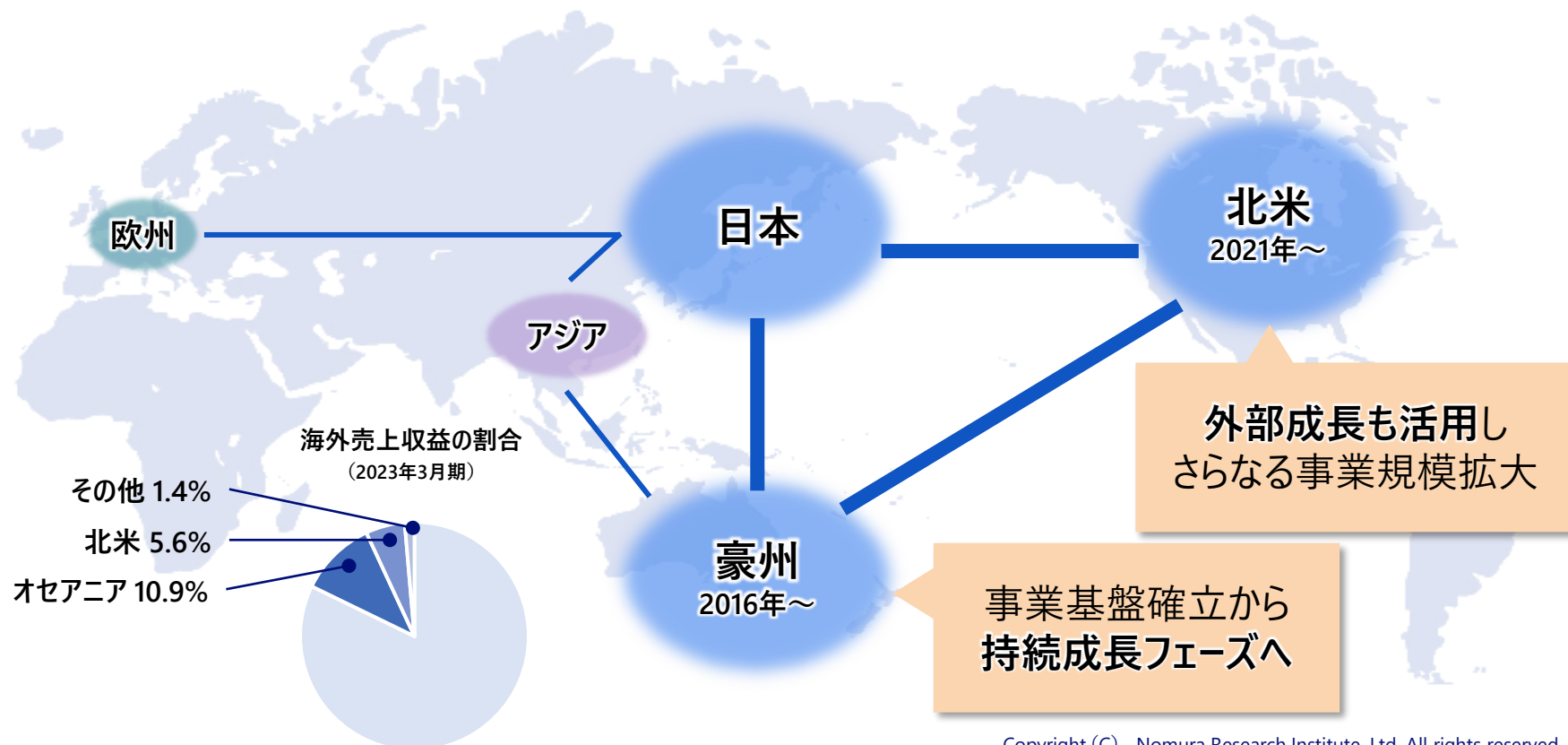


4. さらなる成長に向けた取り組み - 中期経営計画（2023-2025） -

グローバル：世界三極を中心とした事業展開へ

- 日本・アジア、豪州、北米の三極を中心に、**現地経営体制による持続的な事業基盤を確立し**、地域間の連携強化・シナジー創出を加速します
- 長期的には**フルラインのグローバルDX事業**の展開を目指します

DXを各地域で進化させつつ、相互に高めあう



4. さらなる成長に向けた取り組み - 中期経営計画（2023-2025） -

人的資本の一層の拡充に取り組めます

- 社員の志向・経験を考慮しながら一人ひとりの能力を最大限に引き出し、人的資本の成長サイクルを加速します

新卒・キャリア 採用強化

- 第二新卒採用の導入、学生インターン受入の拡大
- 採用チャネルの拡大

成長機会の拡大

- タレントマネジメントによる成長機会付与と成長実感向上
- DXなどのケイパビリティ可視化と、計画的な機会付与

ダイバーシティ& インクルージョン

- 管理職への登用など、女性活躍機会の拡大
- 全社員対象のダイアログなど、エンゲージメント向上

4. さらなる成長に向けた取り組み - 中期経営計画（2023-2025） -

ESGの取り組みをグループ、サプライチェーンへ拡大します

- 取り組みをさらに進化させ、ステークホルダーからの信頼を一層向上させます



ビジネスパートナーとの
協働による
地球環境への貢献

サプライチェーン全体
での脱炭素化

- ネットゼロ実現の取り組み加速
- 再生可能エネルギーの利用拡大
- 気候変動情報、自然資本・生物多様性等の開示充実



ステークホルダーとの
関係強化による
社会的責任の遂行

ステークホルダーの
ウェルビーイングの向上

- ワークインライフ・健康経営の進化
- NRIグループビジネスパートナー行動規範の適用拡大
- 人権デューデリジェンス強化、AI倫理動向の把握・対応



戦略的なリスク
コントロールを実現する
ガバナンスの高度化

グループ・グローバル
での取り組み加速

- 情報開示の充実
- サステナビリティ関連のガバナンス強化
- サステナビリティ経営を加速する役員報酬の設計

4. さらなる成長に向けた取り組み - 中期経営計画（2023-2025） -

2050年までにサプライチェーン全体でネットゼロを目指します

区分	2030年度目標	2050年度目標
Scope1+2 (NRIグループの 直接・間接排出)	温室効果ガス排出量ネットゼロ ※1	温室効果ガス排出量 ネットゼロ ※2
	再生可能エネルギー利用率100%	
Scope3 (NRIグループの活動に 関連する、パートナー など他社の排出)	温室効果ガス排出量30%削減 (2019年度比)	

～2022年度の取り組み

- ビジネスパートナーの環境目標設定支援
- データセンター電力の再生可能エネルギー化
- 脱炭素に特化した社内横断チーム立上げ・運営

2023年度からの取り組み

- ビジネスパートナーの排出削減に向けた協働・支援
- オフィス電力の再生可能エネルギーメニューへの切替
- 炭素除去技術や森林吸収策の活用による中和化

※1 Scope1+2の排出量を2019年度比で97%削減、残余排出量は中和化

※2 Scope1+2+3の排出量を2019年度比で90%削減、残余排出量は中和化

残余排出量： ネットゼロ目標の時点で自社グループのバリューチェーン内で削減できない排出量
中和化： バリューチェーンの外で炭素除去技術等を活用し残余排出量を相殺すること

1 野村総合研究所(NRI)とは？

2 成長を続けるNRIの強み

3 さらなる成長に向けた取り組み -NRI Group Vision 2030-

4 さらなる成長に向けた取り組み -中期経営計画(2023-2025)-

5 取り組み事例

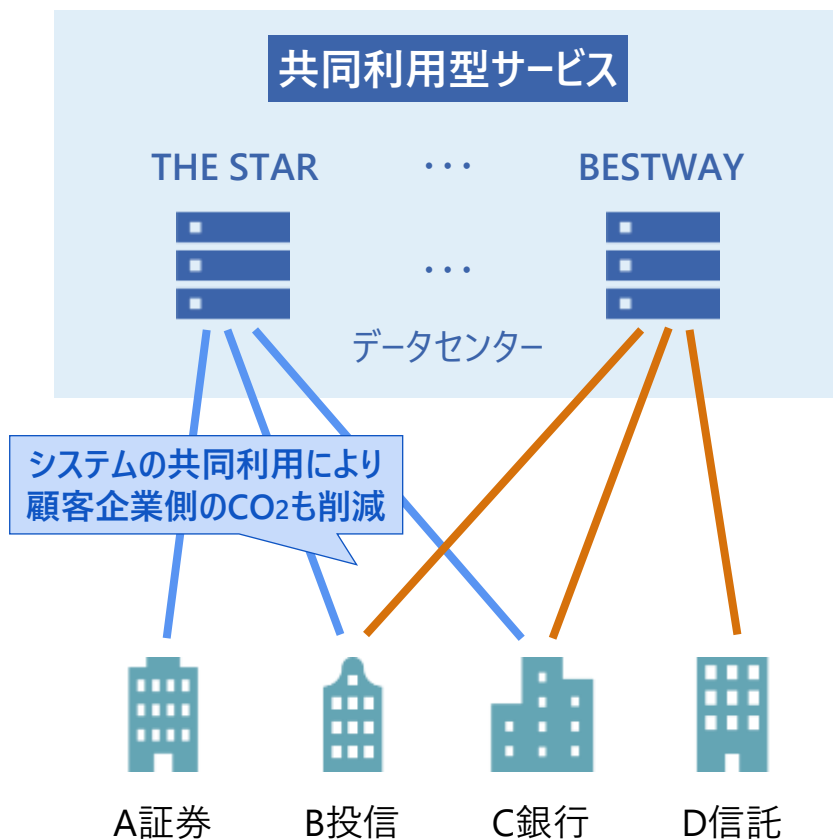
6 数値目標・株主還元

5. 取り組み事例

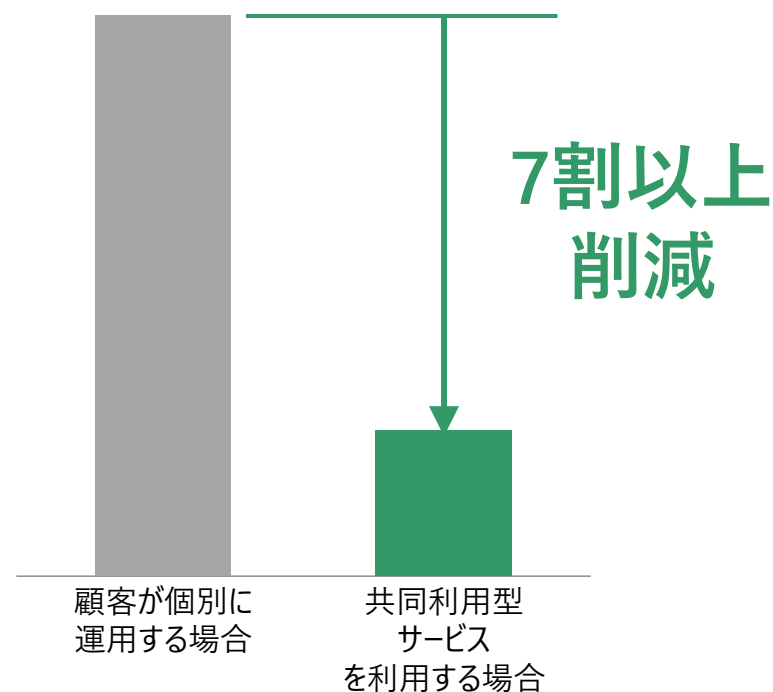
【価値共創を通じた社会課題の解決】

共同利用型サービスの利用により、お客様は7割以上のCO₂を削減できます

NRIのビジネスプラットフォームサービス



共同利用型サービスによるCO₂削減効果 (イメージ)

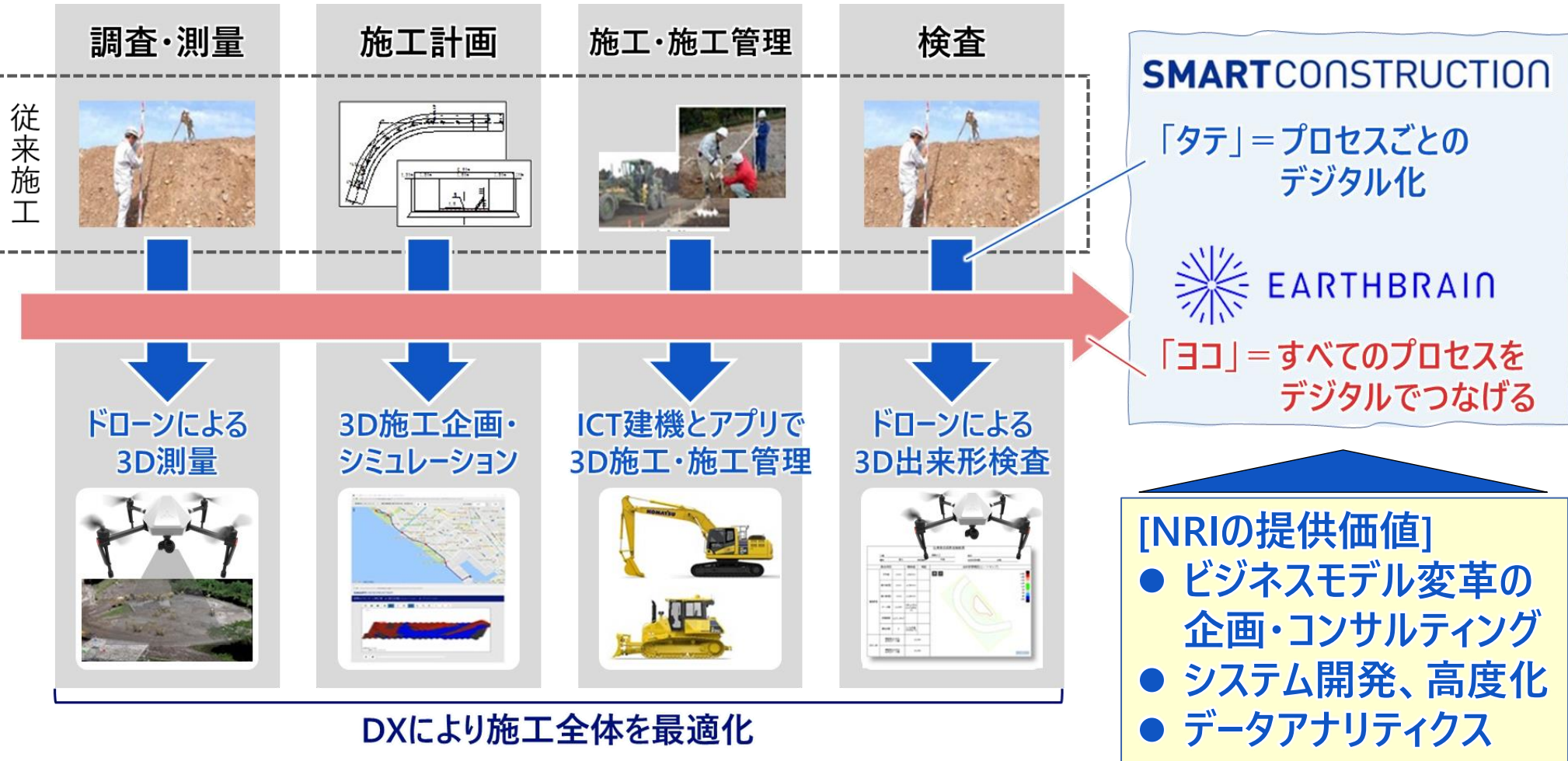


5. 取り組み事例

【DXビジネスの創出と拡大】 DX2.0の事例

産業分野では、ビジネスモデル変革の知見を活かしてDXを推進しています

■建設現場のDXを推進するコマツ社「スマートコンストラクション」の高度化に貢献しています



5. 取り組み事例

【どこかにビューン！】

DXで新たな顧客体験を創出し、地域活性化に貢献します

- JR東日本・NRIデジタル・NRIが協働して、2022年12月より提供開始
- JRE POINTを利用して4つの行き先候補駅の「どこか」に行けるサービスで、新たな旅先との出会いを提供



5. 取り組み事例

【キッズニア福岡】

子どもたちがみずから考え手を動かして社会課題を解決する体験を届けます

- 2022年7月、未来を担う子どもたちへの貢献活動としてNRIのビジネスを疑似体験できるパビリオンを出展

パビリオン名

ビジネスイノベーションセンター



エンジニアリング・ラボ



ビジネスデザイン・スタジオ



1 野村総合研究所(NRI)とは？

2 成長を続けるNRIの強み

3 さらなる成長に向けた取り組み -NRI Group Vision 2030-

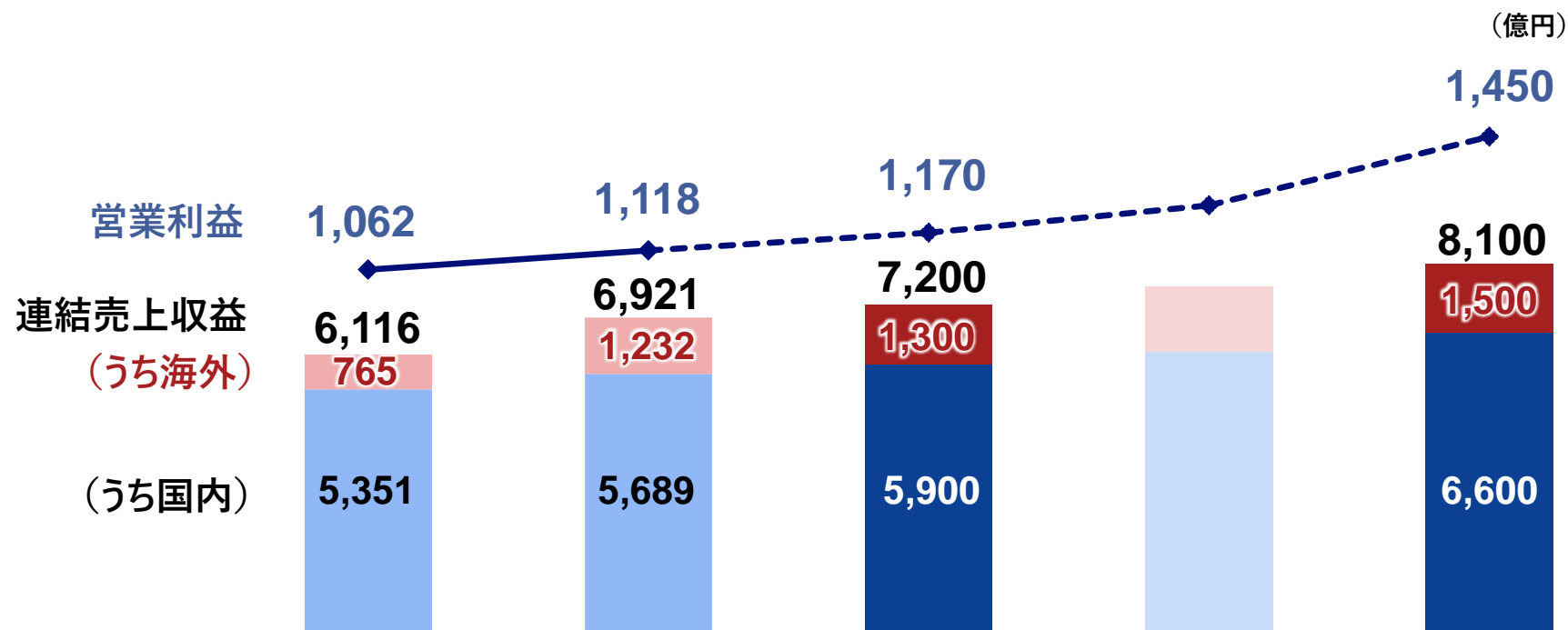
4 さらなる成長に向けた取り組み -中期経営計画(2023-2025)-

5 取り組み事例

6 数値目標・株主還元

6. 数値目標・株主還元

2026年3月期の売上収益8,100億円、営業利益1,450億円を目標としています

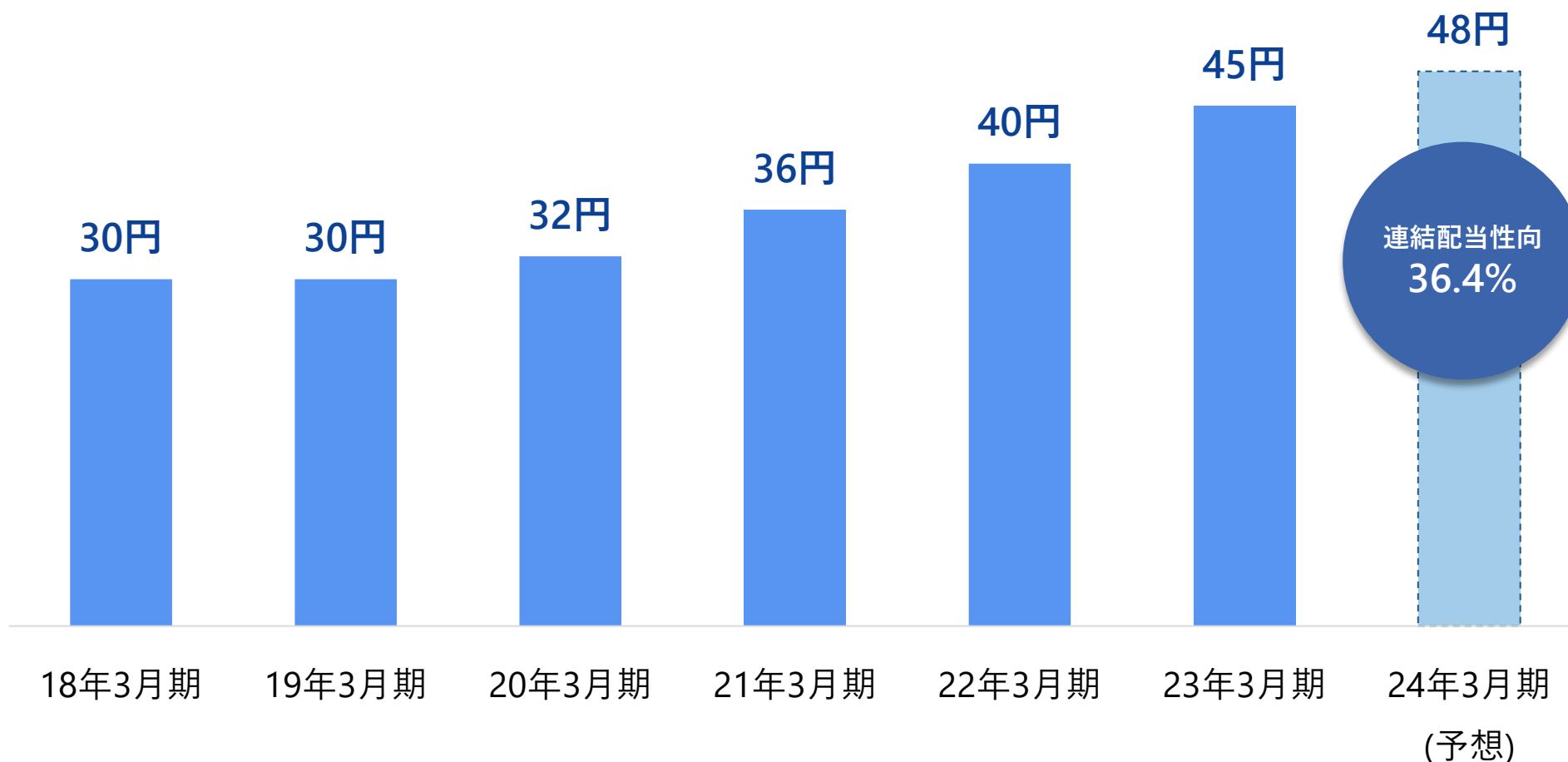


	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	2025年3月期	2026年3月期 目標
連結売上収益	6,116 億円	6,900 億円	7,200 億円	…	8,100 億円
営業利益	1,062 億円	1,150 億円	1,170 億円	…	1,450 億円
営業利益率	17.4 %	16.7 %	16.3 %	…	17.9 %
海外売上収益	765 億円	1,232 億円	1,300 億円	…	1,500 億円
ROE	21.3 %	20.7 %	—	…	20%以上

6. 数値目標・株主還元

利益成長の成果を、株主の皆様へ安定継続的に還元する方針です
2026年3月期の連結配当性向40%を目標に、安定的な配当を継続します

【1株当たり年間配当金の推移】※



※ 2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しました。

ご清聴ありがとうございました

参考資料

(参考資料) 野村総合研究所の提供サービス (コンサルティング)

コンサルティングは、**国内外約1,000名を超えるコンサルタントが、**
企業や政府・官公庁のお客様に対して、様々な支援を行っています

未来予測・社会提言等

- 経済・社会・産業などの将来像を予測
- 出版活動やメディア取材・シンポジウム等での政策提言などでの情報発信

経営・政策コンサルティング

- 企業の経営戦略・個別戦略策定の支援
- 政府・官公庁の政策立案の支援
例) 中長期計画、年度計画、新規事業計画、M&A等

業務コンサルティング

- 企業の戦略実行の支援
- 政府・官公庁の政策実現の支援
例) プロジェクト管理、業務プロセス構築、実行サポート等

システムコンサルティング

- 企業や官公庁のITシステム戦略の策定
- ITを活用した業務改革の計画、実行支援
- グローバル各拠点でのITガバナンスの確立

(参考資料) 野村総合研究所の提供サービス (ITソリューション)

ITソリューションは、システム開発を皮切りに運用アウトソーシングに繋げ、さらに、培ったノウハウで共同利用型サービスを開発・提供しています

システム開発

- 情報システムの企画、設計、開発

※必要なハードウェア(サーバ, ネットワーク機器), ソフトウェア(OS, ミドルウェア, パッケージソフト)を企画・選定し、構築を行う

運用アウトソーシング

- 開発したシステムを安全に運用、保守

※システム安定稼動のために、システムの監視や万が一の障害対応をしたり、システムの改修を行う

共同利用型サービス

- NRIが自ら開発したシステムを、複数の顧客に対して共同利用型サービスとして広く提供

B P O

- 共同利用型サービスと関連する人的業務を合わせて受託 (B P O : ビジネスプロセス・アウトソーシング)

例) データ入力、帳票出力・送付、顧客口座管理業務など

(参考資料) 成長を続けるNRIの強み

【優秀で層の厚い人材】がNRIの強みの源泉です

グループ社員数は1.7万人を超え、高度な資格取得者を多数抱えています

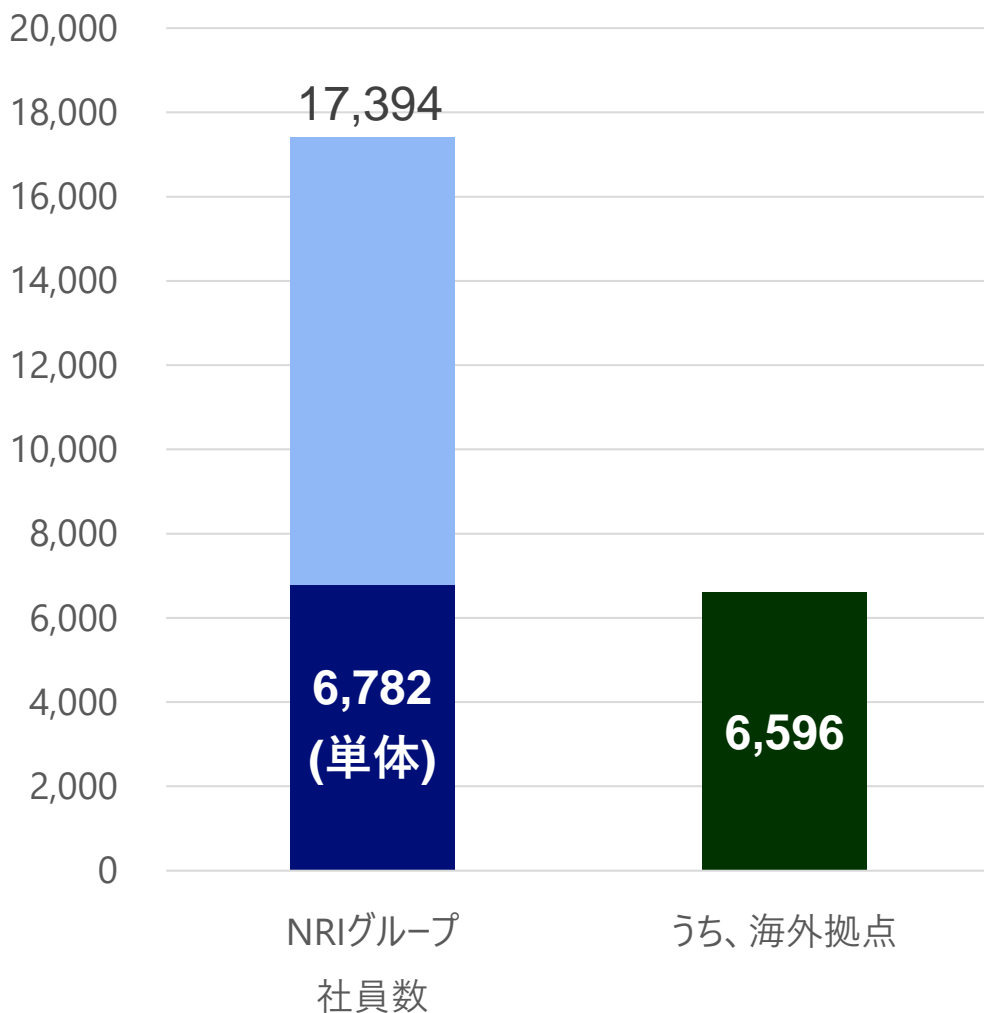
【主な資格取得者数 <2023年3月末>】

(NRI単体ベース)

資格名	人数
情報処理技術者 (高度) ※1	7,263
ITコーディネータ	327
Project Management Professional	405
ITIL Manager/Expert/Intermediate	86
証券アナリスト検定会員	248
公認会計士	20
中小企業診断士	47
一級建築士	11
電気通信主任技術者	107
パブリッククラウド関連資格取得者※2	4,517

※1 旧制度下で実施された「システムアナリスト試験」「上級システムアドミニストレーター試験」「情報セキュリティスペシャリスト試験」「情報セキュリティアドミニストレーター試験」の合格者数を含む延べ人数

※2 AWS認定資格、Google Cloud認定資格 (GCP)、Microsoft Certified (Technology Azure)、ORACLE Cloudの合格者数の延べ人数



(参考資料) さらなる成長に向けた取り組み

【DXビジネスの分類と事例】

DXにより、お客様のビジネスを総合的に支援し、社会の変革に挑戦していきます

社会の 変革	DX3.0	パラダイム変革	様々なパートナーとの共創を通じた社会課題解決 <ul style="list-style-type: none">社会課題解決に資するコンサルティング & ソリューション社会課題 (例) : 脱炭素化、循環型社会、食品流通最適化デジタル活用や起業家支援による地域社会の創生	
	DX2.0	ビジネスモデル変革	今までにないデジタルサービスの確立 <ul style="list-style-type: none">新たな業種横断型プラットフォームの構築顧客の新たなビジネスモデルやエコシステム (複数企業が連携する仕組み) の実現	
顧客・業界の 変革	DX1.0	プロセス変革	デジタルフロント	生活者向け活動のデジタル化 <ul style="list-style-type: none">顧客体験の向上、デジタルマーケティング
		インフラ変革	デジタルバック	顧客の企業内活動のデジタル化 <ul style="list-style-type: none">サプライチェーンマネジメント、AI (人工知能)、共同利用型サービス
				クラウド/セキュリティ等のインフラ高度化 <ul style="list-style-type: none">クラウド移行支援、システム運用の高度化、セキュリティ事業

(参考資料) サステナビリティ経営への取り組み

【持続的成長に向けた重要課題】

ダイバーシティ（多様性）の拡大に向けた取り組みを実施しています

女性活躍

- NRI公式ホームページの情報発信
(<https://career.nri.co.jp/spur/>)

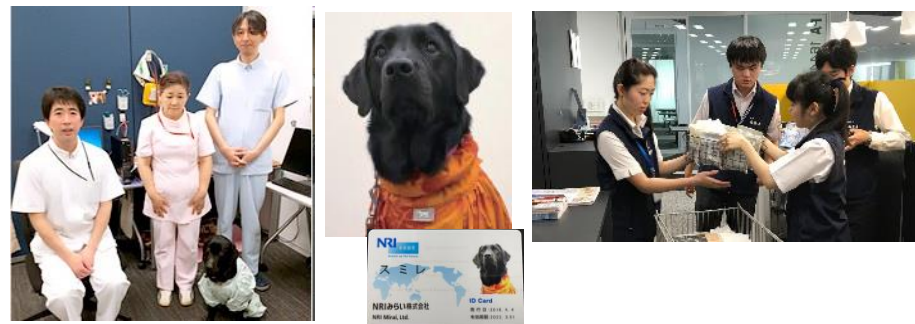


- 事業所内保育所
「ゆめみなと保育園」



障がい者活躍

- 2015年に障害者雇用促進法に基づく特例子会社としてNRIみらいを設立



「そらかふえみらい」NRIみらいのバリスタがハンドドリップで珈琲を提供



4. サステナビリティ経営への取り組み

【持続的成長に向けた重要課題】ESGに関する取り組みが外部から評価されています

Dow Jones Sustainability Indices

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

World Indexに2018年から5年連続で、Asia Pacificには2016年から7年連続で採用

MSCI ESG格付け



2021年より格付最上位ランクのAAAを獲得

CDP



2019年から4年連続で最高位の「Aリスト」に選定。サプライヤー・エンゲージメントリーダー・ボードにも2019年から3年連続で選定（2022年度結果待ち）

MSCI ESG Leaders Indexes



2016年から7年連続で採用

FTSE 4 Good Developed Index



2006年から17年連続で採用

Sustainalytics



IT業界における持続可能性に優れた企業“Top Rated Company”に選定

Euronext Vigeo World 120 Index



2021年にESGの取組みに特に優れた上位企業120社に初めて選定

GPIF関連ESG指数



2017年から設定された、GPIF関連のESG指標の全てに選定

なでしこ銘柄



女性活躍推進に優れた上場企業として、2017年から6年連続で採用

プラチナくるみん



次世代育成支援対策推進法に基づいた行動計画で定めた目標を達成するなど、より高い水準の取組みを行った企業として、2018年に認定

ディスクロージャー優良企業



優れた企業情報開示企業に2017年度より6回連続14回目の選出

えるぼし



女性活躍推進法に基づく取組み状況が優良な企業を選定するもので、NRIは2017年に最高位(3段階目)を取得

健康経営



健康経営優良法人認定制度の大規模法人部門に2017年から6年連続で採用

(参考資料) 株価動向

【株価チャート】 上場以来の株価と売買高の推移

2023年9月8日
終値

4,168円



(参考資料) 株価動向

【株価チャート】日経平均との比較チャート

2009年1月5日の日経平均及びNRI株価を
100とした場合の株価の推移

NRI株価(株式分割調整後)
日経平均

2023年9月8日
終値



(参考資料) よくあるご質問

【よくあるご質問①】

Q. 事業内容を教えてください。

A. 当社の事業は、大きく以下の2つに分けられます。

顧客（民間企業や官庁・地方自治体など）に対する

①企業経営や政策立案などに関するコンサルティング（方針づくり）

②事業を支援するコンピュータシステム（情報システム）の設計・開発・運用（システムを考え、つくり、動かす）

Q. 野村ホールディングスとは、どのような関係ですか？

A. 野村ホールディングスとそのグループ会社は、当社にとって最大の顧客であり、同時に最大の株主です。

また当社は、野村証券から約60年前に独立し分社化した2つの会社が源流となっており、独立した会社として運営しています。

売上収益の10.5%が、野村ホールディングスとその子会社からとなっています。

（2023年3月期）

資本関係は、野村ホールディングスとその子会社が、当社の株式の22.5%を保有しています。

（2023年3月末時点）

【よくあるご質問②】

Q. 株式調査などをおこなっているのですか？

A. かつては株式調査などをおこなう組織がありましたが、この組織は約20年前に廃止し、所属していた証券アナリストチームは野村證券に移籍しました。現在は、個別株式の調査やレポート作成は行っていません。

Q. 海外事業の売上はどのくらいですか？

A. 海外売上収益は、2023年3月期で1,232億円です。
新長期経営ビジョン「NRI Group Vision 2030」では、2030年のイメージとして海外売上収益2,500億円超を掲げています。

Q. 株主優待は実施しないのですか？

A. すべての株主への公平な利益還元を考慮して、株主優待は実施しておりません。

お問い合わせ先

株式会社 野村総合研究所 IR室

E-mail : ir@nri.co.jp

URL : <https://www.nri.com/jp>

- 本資料は、株式会社野村総合研究所が業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的として作成したものです。
- 本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本資料の一切の権利は別段の記載がない限り株式会社野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。



**Envision the value,
Empower the change**